

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0426
施設名	松中保育園
施設所在地	〒1900033立川市一番町5-8-28
法人名	社会福祉法人 昭島愛育会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本の世界の探求(0歳児)

<テーマの設定理由>

新園舎へ移り、2階の光の広場に絵本コーナーを作った。様々な年齢の子どもたちが絵本に触れる中で、子どもたちのつぶやきから絵本の世界を再現したらどのような感じかを感じこのテーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

絵本を読む→子どもの反応を見る→つぶやきに沿った活動を取り入れ子どもたちの様子を見てさらなる展開を考える。  
年間を通じて、絵本を通して子どもたちのつぶやきを取り入れ、活動に結びつけていった。  
<年間活動計画参照>

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 1、絵本コーナーの充実(絵本の管理ができるソフトの導入や絵本・図鑑の購入)
- 2、積み木の充実(カプラや白木の積み木の導入)
- 3、職員の積み木研修への参加
- 4、表現活動に活かせる粗大運動用遊具の導入
- 5、園外保育の充実を図った

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

年間計画に沿って活動

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

本を読み始めると子どもたちが寄ってき始めるようになった。また、好きな本を何度も手に取り「読んで」と訴えてくるようになってきた。その様子を見て「だるまさんが」と声を掛けるとそのあと「ごろん」と転がる動作をしたり。だるまさんと同じ赤い色を見つけては、指差しをし、保育士がそこで「だるまさんとおんなじ色だね」「赤い色だね」などとやり取りをした。言葉に反応して様々な動きができるようになった。0歳児主催のだるま市ごっこでは異年齢とのかかわりを持つことができた。おうちに見立てた積み木が崩れたときの表情も豊かだった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもが9人いれば9人の反応があり、絵本一冊でも様々な楽しみ方ができた。こどもの反応を見ながら、活動を考えることは必然であるが、楽しみながら絵本選びをすることができた。動作をまねしたり、様々な言葉を覚えたりするには「絵本」はとても良い教材だと感じた。